

佐木秋夫 あきお 宗教評論家。明治二十九年十一月十六日東京生れ、昭和六十三年八月二十日歿（一九六一八）。昭和五年東京帝國大學文學部宗教學科卒。築鴨學園、高田女塾教諭を経て、戦後新興宗教の研究に従事。日本唯物論研究会、新宗教研究会所屬。

著書 『白蓮』（昭和十二年二月五日白揚社「人物再検討叢書」）、『現代日本史研究』（合著、昭和十二年十月五日二笠書房）、『紙芝居』（昭和十八年九月）『芸術學院出版部「勤勞文化教本」』、『止と勤勞藝術』（合著、改訂、昭和十九年九月序、大政翼賛會文化動員部「勤勞藝術指導資料」）、『宗教學說』（昭和二十二年六月十五日二笠書房「唯物論全書」）、『牧師とマルキストの對話』（阿部行藏共著、昭和二十五年七月十日白揚社）、『紙芝居』（合著、昭和二十五年十一月）『金子書房「聽視覺教育新書」』、『共產主義への50の疑問』（合著、理論社編集部編、昭和二十六年十月十五日理論社）、『日本は狂つてくる—戦後異常心理の分析』（合著、乾孝編、昭和二十八年四月五日同光社磯部書房）等。

